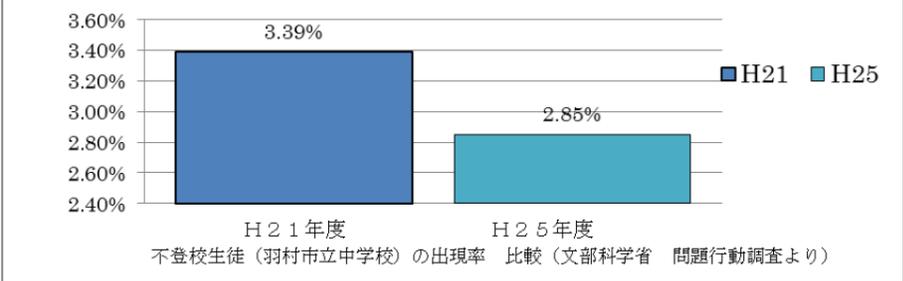
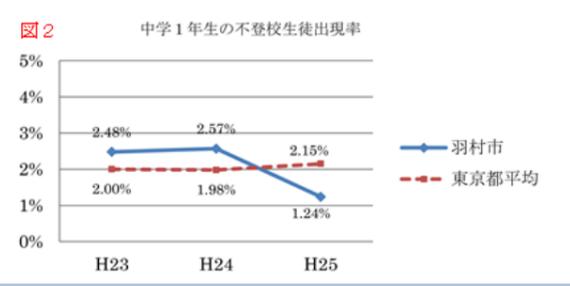
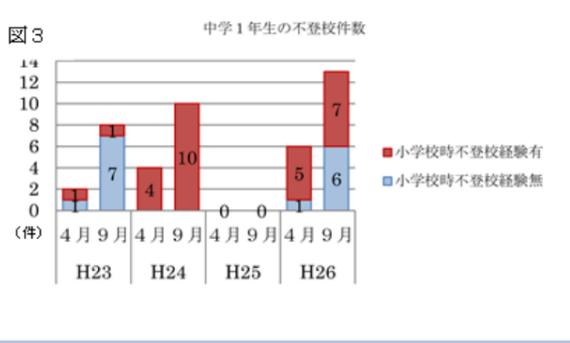
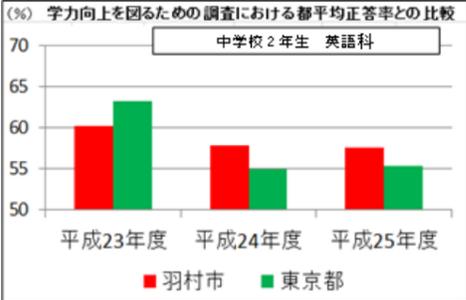
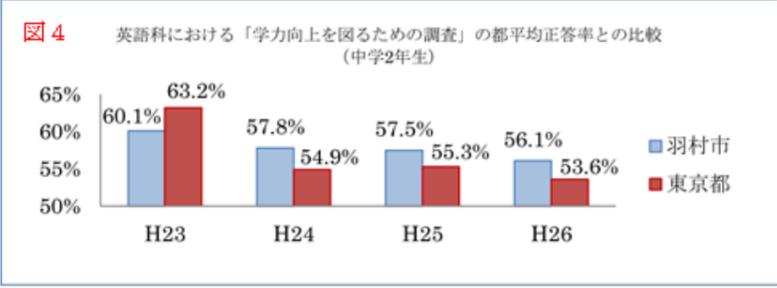
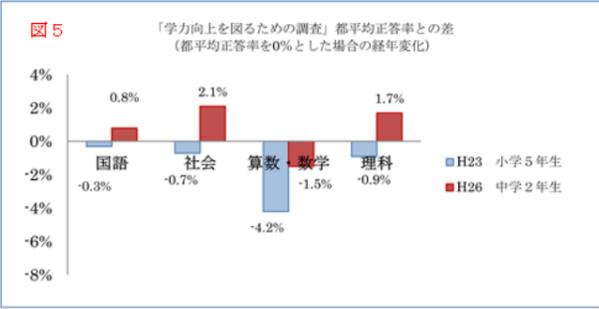
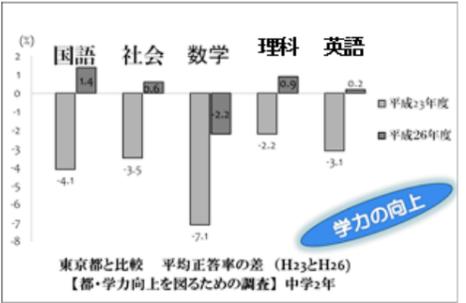
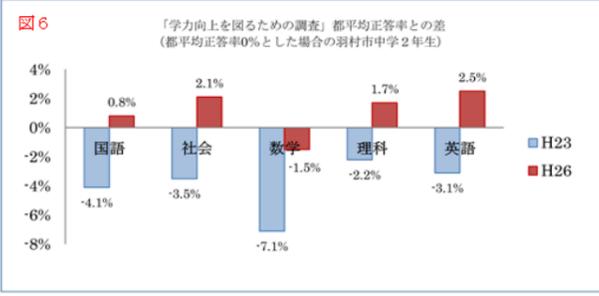


羽村市小中一貫教育基本計画（案）と羽村市小中一貫教育基本計画対照表

羽村市小中一貫教育基本計画（案）	羽村市小中一貫教育基本計画
<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>I 計画の目的</p> <p>この計画は、教育基本法や学校教育法に規定された義務教育の目的・目標の実現、様々な教育課題の解決、子供の心身の発達早期化などに対応するため、小学校と中学校の効果的・効率的な接続や教員が一体となった指導体制の充実を図るなど、義務教育9年間を通じた小中一貫教育を<u>実現する</u>ことを目的とする。</p>	<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>I 計画の目的</p> <p>この計画は、教育基本法や学校教育法に規定された義務教育の目的・目標の実現、様々な教育課題の解決、子供の心身の発達早期化などに対応するため、小学校と中学校の効果的・効率的な接続や教員が一体となった指導体制の充実を図るなど、義務教育9年間を通じた小中一貫教育を<u>充実させる</u>ことを目的とする。</p>
<p>II 計画の性格</p> <p>1 この計画は、羽村市全体の小中一貫教育の<u>実現</u>を図るための基本的な考え方や施策を示した。</p>	<p>II 計画の性格</p> <p>1 この計画は、羽村市全体の小中一貫教育の<u>充実</u>を図るための基本的な考え方や施策を示した。</p>
<p>第2章 小中一貫教育の取組の成果と課題</p> <p>I 取組の成果と課題</p> <p>平成21年度に策定した羽村市小中一貫教育基本計画に基づき、平成23年度より施設隣接型、平成24年度より施設分離型として実施してきた。</p>	<p>第2章 小中一貫教育の取組の成果と課題</p> <p>I 取組の成果と課題</p> <p>平成21年度に策定した羽村市小中一貫教育基本計画に基づき、平成23年度より施設隣接型、平成24年度より施設分離型として実施してきた。<u>当時、学習意欲の低下、生活習慣や学習習慣の未確立、いじめや不登校などの問題行動、規範意識や体力の低下などが大きな課題となっており、学力においても平成19年度の東京都の学力向上を図るための調査では、小・中学校とも都平均を下回る結果であった。また、不登校については、特に中学校が東京都の出現率を上回っている状況にあった。</u></p> <p><u>このような状況から、小中一貫教育基本計画を策定し、取り組み始め5年が経過するところであるが、義務教育9年間の継続した、きめ細かな指導を積み重ねたことで、小中学校が様々な取組を通じてつながり、中1ギャップの解消、学力の向上、いじめや不登校の減少に一定の成果が現れ始めた。</u></p>
<p>1 主な取組</p> <p>(4) 羽村市小中一貫教育基本カリキュラムによる系統的な指導</p> <p>① カリキュラムの重点化</p> <p>② 小学校1年生からの英語教育の充実等</p>	<p>1 主な取組</p> <p>(4) 羽村市小中一貫教育基本カリキュラムによる系統的な指導</p> <p>① カリキュラムの重点化</p> <p>② 小学校1年生からの英語教育の充実等</p> <p>③ <u>羽村学・人間学・親学の実施</u></p>
<p>2 主な成果と課題</p> <p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* 中1ギャップとは、新しく学ぶ教科や教科担任制による教員の指導体制など、小学校とは違う新たな中学校生活において生じる心理的な不安のことをいう。</p> </div>	<p>2 主な成果と課題</p> <p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* 中1ギャップとは、新しく学ぶ教科や教科担任制による教員の指導体制など、小学校とは違う新たな中学校生活において生じる心理的な不安のことをいう。<u>この心理的な不安が不登校等の問題行動につながっていく傾向がある。</u></p> </div>
<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p> <p>・小中一貫教育の基本計画が策定された平成21年度から比べると中学校の不登校率は、減少傾向が見えた。</p>	<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p> <p>・小中一貫教育の基本計画が策定された平成21年度から比べると中学校の不登校率は、<u>全体として減少傾向が見えた。【図1】</u></p>

羽村市小中一貫教育基本計画（案）	羽村市小中一貫教育基本計画
 <p>不登校生徒（羽村市立中学校）の出現率 比較（文部科学省 問題行動調査より）</p>	 <p>図1 羽村市立中学校不登校生徒出現率 (文部科学省 問題行動調査より)</p>
<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p>	<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p> <p>・<u>中学1年生の不登校出現率の経年変化についても減少傾向にある。【図2】</u></p>  <p>図2 中学1年生の不登校生徒出現率</p>
<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p> <p>・不登校の減少とともに、小学生の時に不登校経験のなかった中学1年生の生徒が、新たに不登校になるケースは、<u>3年間連続で0件となった。</u></p> <p>＜課題＞</p> <p>・小学校の教員が中学校との接続期にあたる時期（4月～7月）に行う交流授業などは、教科の拡大や方法の可能性を広げる工夫が必要である。（回数や教科の増加、時間の調整）</p>	<p>(1) 中学校1年生の不安の解消（*「中1ギャップ」の解消）</p> <p>《成果》</p> <p>・不登校の減少とともに、小学生の時に不登校経験のなかった中学1年生の生徒が、新たに不登校になるケースは、<u>2年間連続で0件となった。【図3】※記載誤りにより年数訂正。</u></p>  <p>図3 中学1年生の不登校件数</p> <p>＜課題＞</p> <p>・小学校の教員が中学校との接続期にあたる時期（4月～7月）に行う交流授業などは、教科の拡大や方法の可能性を広げる工夫が必要である。（回数や教科の増加、時間の調整）</p> <p>・<u>小学生の時に不登校経験のなかった中学1年生の生徒が、新たに不登校になるケースが、一時は2年間連続で0件となったが、平成26年度に再び現れているため、今後、更なる原因の分析と対応が必要である。【図3】</u></p>

羽村市小中一貫教育基本計画（案）	羽村市小中一貫教育基本計画																																				
<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム上の重点化を図ってきた特定の教科（中学校英語）において、一定の上昇成果が見られた。 <p>（「東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果より）</p>  <table border="1"> <caption>図4 英語科における「学力向上を図るための調査」の都平均正答率との比較 (中学2年生)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>羽村市 (%)</th> <th>東京都 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>60.1%</td> <td>63.2%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>57.8%</td> <td>54.9%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>57.5%</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>56.1%</td> <td>53.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	羽村市 (%)	東京都 (%)	H23	60.1%	63.2%	H24	57.8%	54.9%	H25	57.5%	55.3%	H26	56.1%	53.6%	<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム上の重点化を図ってきた特定の教科（中学校英語）において、一定の上昇成果が見られた。【図4】 																					
年度	羽村市 (%)	東京都 (%)																																			
H23	60.1%	63.2%																																			
H24	57.8%	54.9%																																			
H25	57.5%	55.3%																																			
H26	56.1%	53.6%																																			
<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p>	<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に小学5年生であった児童の平均正答率については、全教科、東京都平均正答率を下回っていたが、平成26年度に中学2年生になり、数学を除き東京都平均正答率を上回る結果となった。【図5】  <table border="1"> <caption>図5 「学力向上を図るための調査」都平均正答率との差 (都平均正答率を0%とした場合の経年変化)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>社会 (%)</th> <th>算数 (%)</th> <th>数学 (%)</th> <th>理科 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23 小学5年生</td> <td>-0.3%</td> <td>-0.7%</td> <td>-4.2%</td> <td>-1.5%</td> <td>-0.9%</td> </tr> <tr> <td>H26 中学2年生</td> <td>0.8%</td> <td>2.1%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	社会 (%)	算数 (%)	数学 (%)	理科 (%)	H23 小学5年生	-0.3%	-0.7%	-4.2%	-1.5%	-0.9%	H26 中学2年生	0.8%	2.1%	-	-	1.7%																		
年度	国語 (%)	社会 (%)	算数 (%)	数学 (%)	理科 (%)																																
H23 小学5年生	-0.3%	-0.7%	-4.2%	-1.5%	-0.9%																																
H26 中学2年生	0.8%	2.1%	-	-	1.7%																																
<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p>  <table border="1"> <caption>東京都と比較 平均正答率の差 (H23とH26) 【都・学力向上を図るための調査】中学2年</caption> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>H23 (%)</th> <th>H26 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>-4.1</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>-3.5</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>-7.1</td> <td>-2.2</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>-2.2</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>-3.1</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	教科	H23 (%)	H26 (%)	国語	-4.1	1.4	社会	-3.5	2.1	数学	-7.1	-2.2	理科	-2.2	0.9	英語	-3.1	0.2	<p>(2) 学力の向上</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は5教科のすべて（中学2年生）が東京都平均正答率を下回っていたが、平成26年度には数学を除く教科において東京都の平均正答率を上回った。数学においても平均正答率の差が縮まった。【図6】※数値に誤りがあったため、正しい数値によりグラフ再作成。 <p>（「東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果より）</p>  <table border="1"> <caption>図6 「学力向上を図るための調査」都平均正答率との差 (都平均正答率0%とした場合の羽村市中学2年生)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>社会 (%)</th> <th>数学 (%)</th> <th>理科 (%)</th> <th>英語 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>-4.1%</td> <td>-3.5%</td> <td>-7.1%</td> <td>-2.2%</td> <td>-3.1%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>0.8%</td> <td>2.1%</td> <td>-1.5%</td> <td>1.7%</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	社会 (%)	数学 (%)	理科 (%)	英語 (%)	H23	-4.1%	-3.5%	-7.1%	-2.2%	-3.1%	H26	0.8%	2.1%	-1.5%	1.7%	2.5%
教科	H23 (%)	H26 (%)																																			
国語	-4.1	1.4																																			
社会	-3.5	2.1																																			
数学	-7.1	-2.2																																			
理科	-2.2	0.9																																			
英語	-3.1	0.2																																			
年度	国語 (%)	社会 (%)	数学 (%)	理科 (%)	英語 (%)																																
H23	-4.1%	-3.5%	-7.1%	-2.2%	-3.1%																																
H26	0.8%	2.1%	-1.5%	1.7%	2.5%																																

羽村市小中一貫教育基本計画（案）と羽村市小中一貫教育基本計画対照表

羽村市小中一貫教育基本計画（案）	羽村市小中一貫教育基本計画
<p>(2) 学力の向上</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、学力調査の結果においては、まだ課題が見られる。 	<p>(2) 学力の向上</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、学力調査の結果においては、まだ課題が見られる。<u>特に小学校について原因の分析が必要である。</u>
<p>(3) いじめや不登校の減少</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校については、「中学校1年生の不安解消」と同様の傾向が見られた。 ・小学校と中学校の教員が頻繁に顔を合わせるため、小学校との情報共有や生活指導上の指導内容を統一化できた。 ・いじめについては、いじめの解消率が増加した。（「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」（文部科学省実施）による） 	<p>(3) いじめや不登校の減少</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校については、「中学校1年生の不安解消」と同様の傾向が見られた。<u>【図1】</u> ・小学校と中学校の教員が頻繁に顔を合わせるため、小学校との情報共有や生活指導上の指導内容を統一化できた。 ・いじめについては、いじめの解消率が増加した。<u>【図7】</u>（「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」（文部科学省実施）による）
<p>(4) 個性や能力の一層の向上・豊かな人間性や社会性の育成</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の取組により、小学校と中学校の連携、校区ごとでの小・中学校一体となった取組、校区内の小学校と小学校の連携と活動の幅が豊かになった。 	<p>(4) 個性や能力の一層の向上・豊かな人間性や社会性の育成</p> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の取組により、小学校と中学校の連携、校区ごとでの小・中学校一体となった取組、校区内の小学校と小学校の連携と活動の幅が豊かになった。 ・<u>すべての児童・生徒が学習指導要領の内容に加え、羽村市独自の特色あるカリキュラム（羽村学・人間学）を横断的、系統的に学ぶことができ、豊かな人間性を育むことができた。</u> ・<u>親学（家庭教育講座）では、中学校区ごとで実施した家庭教育セミナーや各校の取組を合わせて、取り組んできた。保護者と学校が協力し、児童・生徒を育てていくために必要なことを知ったり、考えたりすることができたことにより、児童・生徒の教育を支える環境づくりが進んだ。</u>
<p>第3章 今後の目標と取組内容</p> <p>I 中学校1年生の不安の解消（「中1ギャップ」の解消）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>目標指標：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中学校生徒による小学校学校行事への参加 ②中学校部活動へ小学校児童（6年生）の参加 ③小学校児童会（複数校）と中学校生徒会との交流 ④「算数・数学科」「外国語活動・外国語（英語）」における乗り入れ授業の実施（年6回以上） ⑤「算数・数学科」「外国語活動・外国語（英語）」<u>における交流授業（出前授業）の実施（年6回以上）</u> </div> <p>II 学力の向上</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>目標指標：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校における一部教科等担任制の導入 ②東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（中学校2年生実施）の都平均正答率への到達（100%超）（H26年度現在、対都差平均正答率「数学」：<u>97.8%</u>達成） </div>	<p>第3章 今後の目標と取組内容</p> <p>I 中学校1年生の不安の解消（「中1ギャップ」の解消）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>目標指標：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中学校生徒による小学校学校行事への参加 ②中学校部活動へ小学校児童（6年生）の参加 ③小学校児童会（複数校）と中学校生徒会との交流 ④「算数・数学科」「外国語活動・外国語（英語）」における乗り入れ授業の実施（年6回以上 <u>各小学校2回以上</u>） ⑤「算数・数学科」「外国語活動・外国語（英語）」<u>以外の教科における交流授業（出前授業）の実施</u> </div> <p>II 学力の向上</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>目標指標：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校における一部教科等担任制の導入 ②東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（中学校2年生実施）の都平均正答率への到達（100%超）（H26年度現在、対都差平均正答率「数学」：<u>98.5%</u>達成） </div> <p><u>※数値に誤りがあったため訂正。</u></p>

羽村市小中一貫教育基本計画（案）と羽村市小中一貫教育基本計画対照表

羽村市小中一貫教育基本計画（案）	羽村市小中一貫教育基本計画
<p>Ⅲ いじめや不登校の減少</p> <p>目標指標：</p> <p>①不登校児童・生徒出現率 前年度を下回る（都出現率<u>への到達</u>）</p> <p>②いじめ未解消件数の前年度比改善</p>	<p>Ⅲ いじめや不登校の減少</p> <p>目標指標：</p> <p>①不登校児童・生徒出現率 前年度を下回る（都出現率<u>を下回る</u>）</p> <p>②いじめ未解消件数の前年度比改善</p>